

2022 年 2 月 13 日 聖日礼拝

インターネットの礼拝映像配信は 9 時より。11 時からは録画を視聴できます。

2 月 13 日 聖日礼拝

前 奏 招 詞 詩篇 46 章 10 節

「やめよ。知れ。わたしこそ神。わたしは国々の間であがめられ地の上であがめられる。」アーメン

会衆賛美 聖歌 459 (1, 2 節)
会衆賛美 御手の中で (1 節)

主の祈り 交 読 詩篇 50 篇 7 ～ 15 節

礼拝祈禱 使徒信条 聖書朗読 マタイの福音書

説 教 イエス様の怒り 23 章 1 ～ 13 節

会衆賛美 聖歌 414 (1, 2 節) 荻野泰弘牧師

献 金 頌 栄 聖歌 376

祝 禱 報告

後 奏 感謝祈禱

■聖歌 459 「救い主の愛と」(1, 2 節)

- ①すくいぬしの愛と 流しませる血とを
生けるかぎりわれは かさねがさね歌わん

※イエスは われの とがを洗いさりて
雪のごとく 白くならせたもう

- ②君の血しおこそは 人をまったくすくい
いざなう者の手より 守るちからなれや

■御手の中で (1 節)

- ①御手の中で すべては変わる賛美に
わがゆく道を 導きたまえ あなたの御手の中で

■主の祈り 天にましますわれらの父よ。ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。御国をきたらせたまえ。御心の天になるごとく、地にもなさせたまえ。われらの日用の糧を今日もあたえたまえ。われらに罪をおかすものを われらが 赦すごとく、われらの罪をも赦したまえ。われらを ころみにあわせず 悪より救いいだしたまえ。国と力と栄えとは かぎりなく なんじのものなればなり。アーメン

■交読 詩篇 50 篇 7 節～15 節

- 7 「聞け わが民よ。わたしは語ろう。
イスラエルよ わたしはあなたを戒めよう。
わたしは神 あなたの神である。
- 8 あなたのいけにえのことで
あなたを責めるのではない。
あなたの全焼のささげ物は
いつもわたしの前にある。
- 9 わたしはあなたの家から雄牛を
囲いから雄やぎを 取ろうとしているのではない。
- 10 森のすべての獣はわたしのもの。
千の丘の家畜らも。
- 11 わたしは 山の鳥も残らず知っている。
野に群がるものたちも わたしのもとにいる。
- 12 たとえ飢えても わたしはあなたに言わない。
世界とそれに満ちるものはわたしのものだ。
- 13 わたしが雄牛の肉を食べ
雄やぎの血を飲むだろうか。
- 14 感謝のいけにえを神に献げよ。
あなたの誓いをいと高き神に果たせ。
- 15 苦難の日に
わたしを呼び求めよ。
わたしはあなたを助け出し
あなたはわたしをあがめる。」

■使徒信条 われは天地のつくりぬし、全能の父なる神を信ず。われはそのひとりご、われらの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤよりうまれ、ポンテオ・ピラトのもとにくるしみをうけ、十字架につけられ、死にてほうむられ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり。かしこよりきたりて 生けるものと死にたるものとを さばきたまわん。われは聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒のまじわり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえのいのちを信ず。アーメン

■聖書朗読 マタイの福音書 23章1～13節

- 1 そのとき、イエスは群衆と弟子たちに語られた。
- 2 「律法学者たちやパリサイ人たちはモーセの座に着いています。
- 3 ですから、彼らがあなたがたに言うことはすべて実行し、守りなさい。
しかし、彼らの行いをまねてはいけません。彼らは言うだけで実行しないからです。
- 4 また彼らは、重くて負いきれない荷を束ねて人々の肩に載せるが、それを動かすのに自分は指一本貸そうともしません。
- 5 彼らがしている行いはすべて人に見せるためです。彼らは聖句を入れる小箱を大きくしたり、衣の房を長くしたりするのです。
- 6 宴会では上座を、会堂では上席を好み、
- 7 広場であいさつされること、人々から先生と呼ばれることが好きです。
- 8 しかし、あなたがたは先生と呼ばれてはいけません。あなたがたの教師はただ一人で、あなたがたはみな兄弟だからです。
- 9 あなたがたは地上で、だれかを自分たちの父と呼んではいけません。
あなたがたの父はただ一人、天におられる父だけです。
- 10 また、師と呼ばれてはいけません。あなたがたの師はただ一人、キリストだけです。
- 11 あなたがたのうちで一番偉い者は皆に仕える者になりなさい。
- 12 だれでも、自分を高くする者は低くされ、自分を低くする者は高くされます。
- 13 わざわいだ、偽善の律法学者、パリサイ人。おまえたちは人々の前で
天の御国を閉ざしている。おまえたち自身も入らず、入ろうとしている人々も入らせない。

■聖歌 414「重荷をおいて」（1，2節）

- ①重荷を負いて悩むとき 「われにきたれ」と呼びたもう
み声を聞かば今すぐに みたまの言える ごとくせよ

※みたまの言える ごとくせよ 心を固くするなかれ
み声を聞かば今すぐに みたまの言える ごとくせよ

- ②主はながために 血を流し 救いを成就したまえり
すべてを捨てて 今すぐに みたまの言える ごとくせよ

■頌栄 聖歌 376 「父 御子 御霊の」

父 御子 みたまの おおみかみに とこしえかわらず
御栄えあれ 御栄えあれ アーメン

【自宅での礼拝の手引き】

- ・招詞 招詞を読みます
- ・賛美 歌います
- ・主の祈り 主の祈りを祈ります
- ・交読 交読箇所を読みます
- ・礼拝祈祷 次の言葉を祈りましょう
「天の父なる神様。今、あなたの御前で礼拝をささげられることを感謝します。兄弟姉妹と場所は異なりますが、心を一つにして礼拝をささげます。主の臨在を、今、ここに現してください。私たちの救い主、イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン」
- ・使徒信条 使徒信条を告白します
- ・聖書朗読 聖書朗読箇所を読みます
- ・説教 聖書朗読箇所を思い巡らしましょう
- ・賛美 歌います
- ・献金 主から受けたものの中で私がささげられるものや分かち合えるものは何か思い巡らしましょう。それをささげながら歩めるように主の助けを祈りましょう。
- ・頌栄 頌栄をささげます
- ・祝福 心の中で祝福を読み、最後に「アーメン」と告白しましょう
「願わくば 主イエス・キリストの恵み 父なる神の愛 聖霊の親しい交わりが教会員一同の上に とこしえにありますように アーメン」